

第 3 次山武市総合計画策定方針（案）

（令和 3 年 7 月 20 日 庁議報告）

1 策定の背景

山武市は、平成 18 年 3 月 27 日に成東町、山武町、蓮沼村及び松尾町の 4 町村の合併により誕生しました。山武市誕生以降、全国的に少子高齢化による深刻な人口減少が進み、地域コミュニティの機能低下や地域社会・経済を支える人材不足などの課題が顕在化しています。そのため、地方創生の取り組みに加え、東日本大震災や気候変動による災害の増加などに対応するため、国土強靱化の取り組みが求められています。また、新型コロナウイルス感染症の発生により、生活様式や価値観が大きく変化したため、その変化に対応し、かつ将来の成長戦略が描ける自治体経営が必要となっています。

現在の総合計画では「海岸、田園、丘陵という豊かな自然環境を活かしたまちづくり」、「成田国際空港と圏央道ネットワークを意識したまちづくり」、「将来に渡って持続可能で魅力あるまちづくり」を基本構想と定め、まちづくりの普遍的な方向性を示し、行政評価の考えを取り入れた市政経営によるまちづくりを進めてきました。そして、現在の総合計画は、令和 4（2022）年度で満了を迎えます。

このような背景を踏まえ、社会情勢の変化や多様化するニーズ、新たな課題などに対応するため、「第 3 次山武市総合計画」（以下、第 3 次総合計画という。）を策定します。

2 策定の根拠

「山武市総合計画条例」に基づき、基本構想について議会の議決を経た上で、総合計画の策定を行います。

3 計画の名称

第 3 次山武市総合計画

4 策定の基本的な考え方・コンセプト

(1) 成果指標を活用した総合計画（継続）

各施策・基本事業に成果指標を設定し、PDCA サイクル（Plan-Do-Check-Action：計画－実施－評価－改善）による行政経営を推進します。

(2) 市長任期と連動した総合計画（継続）

市長任期と連動させることで、機動的かつ柔軟な対応ができ、市長の施政方針が反映できる計画策定を目指します。

(3) 注力すべき分野の設定 (継続)

市の最上位計画として、まちづくりに必要な政策分野を網羅し、体系化した計画策定を行います。

また、限られた資源（予算や人材など）を選択と集中によるメリハリのある活用を図るため、計画期間中に注力すべき分野を設定します。

(4) 各種計画との連携と一体的管理の推進 (深化)

総合計画は、行政改革の考え方や取り組みを包含しています。また、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」「国土強靱化地域計画」「教育振興計画」と連携した体系とすることで、同一の指標を用いて進行管理や進捗状況を把握することができるようにします。

(5) SDGs との関連性の明示 (新化)

SDGs（持続可能な開発目標）は 2015 年 9 月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための 2030 アジェンダ」に掲げられた 2030 年までの達成を目指す国際目標です。山武市の総合計画においても、各施策と SDGs の 17 のゴールとの関連を示すことで持続可能なまちづくりの推進を図ります。

5 計画の構成と期間

第 3 次総合計画は、第 2 次総合計画の構成を継承し、基本構想、基本計画、実施計画の 3 つの計画で構成します。

| 構成 | 内容 | 計画期間 |
|----------|--|----------------------|
| (1) 基本構想 | 市の歴史や自然等の地域的特性、市勢を表す指標を用いながら、まちづくりの方向性を示します。 | 4 年間 (議決事項) |
| (2) 基本計画 | 計画期間を市長任期と連動させ、市長の施政方針に沿った行政運営ができる体制を確保します。 ① まちづくりの方針（市長の施政方針） ② 政策体系（政策－施策－基本事業） ③ 重点分野 ④ 施策別計画（環境変化、課題、成果指標、目標値等） | 4 年間 (市長任期と連動) |
| (3) 実施計画 | 基本計画の目標達成に向けて必要な事業及び財政計画に大きな影響がある事業を示します。 ① 重点分野：基本計画で定めた重点分野の成果向上のために、新たに取り組んだり、注力していく事業 ② 大型事業（ハード）：事業の終期がある建設やイベント等の大型事業（道路や施設の建設や改修、大規模なイベント事業） ③ 主要事業（ソフト）：施策の成果に対する貢献度が高い経常的に実施している事業 | 3 年間 (毎年ローリングを実施) |

6 計画策定の体制

(1) 庁内体制

- ・行政評価の仕組みを活用し、主管課長を中心に、施策単位で基本計画の見直しを行います。この結果を集約し、各部長等で構成する庁議（政策調整会議）において、基本構想の起草や各施策間の総合調整、重点施策の設定等を行い、総合計画の原案作成を行います。計画策定の各過程において幅広い層の職員の参画を求めます。
- ・策定に関わる事務は、企画政策課、総務課、財政課で構成する行政評価推進事務局で行います。

(2) 市民参画

- ・広く市民の意見や提案を反映させるため、まちづくりアンケート（無作為で市民 3,000 人を抽出し実施）や、パブリックコメント等を実施します。

(3) 審議機関

- ・「山武市総合計画条例」に基づき、山武市総合計画審議会を設置し、各分野の専門的見地から、計画内容の調査及び審議を行います。委員は、各種団体や公募による市民委員、学識経験を有する者等で構成され、市長が任命することとします。
- ・市民の代表である山武市議会において、議会全員協議会等で策定過程を逐次報告し、十分に意見交換・反映を行います。また、基本構想に関しては議決を経ることとします。

7 計画策定のスケジュール

第3次総合計画は、令和5年3月を目途に策定するものとし、概ね下記のスケジュールに基づき策定に取り組みます。

| 時期 | 内容 |
|---|---|
| 《令和3年度》 8月 9月 9月下旬 ～10月 10～11月 11～2月 2～3月 | ・総合計画審議会の実施、第3次総合計画策定方針の策定 ・山武市議会への説明 ・第3次総合計画策定の職員説明会、施策体系の検討（環境変化、課題の整理） ・基本計画策定の職員説明会 ・施策別計画の策定（基本事業構成、成果指標及び指標算定式等） ・総合計画審議会への諮問 |
| 《令和4年度》 4月 4～6月 7月 7～8月 8月 9～10月 10月 12月 3月 | ・市長選の執行 ・まちづくりアンケートの実施（成果指標の現状値の取得） ・重点分野の検討 ・成果指標の目標値設定 ・総合計画審議会の実施 ・実施計画事業の選定 ・総合計画（原案）の作成、総合計画審議会の実施 ・山武市議会への説明、パブリックコメントの実施 ・総合計画審議会から答申、山武市議会での基本構想の議決 ・総合計画書、概要版の印刷と配布 |

※総合計画審議会及び議会に対しては、計画の各作成段階において中間報告を行う。